

令和6年度高等学校生徒支援体制充実事業表

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

教育活動充実支援事業【インターンシップ教育】研究成果発表

少人数教育七ヶ宿校 地域社会に貢献できる人材の育成

七校での学び
「生徒が学びたいと思う学校づくり」

地域でのインターンシップ(職業体験)
「地域・地元企業との連携・協力関係の構築」

主体的な学び「学習意欲の形成」「勤労体験による自己理解」

- ・学校での学びが就業先でどう用いられ、役に立つかを整理する（気付く学びと、実感を持った学び）
- ・働く楽しさ、厳しさ、喜び、辛さ等を実感し、自らの個性適性を把握する（多様な経験による自己理解）

対話的な学び「職業人との交流・相互理解」「社会人としてのマナーを身に付ける」

- ・就業先で働く職業人と交流・相互理解し、認められた自分を素直に受け入れる（自己肯定感の醸成）
- ・職業体験で社会人としてのマナーを身に付け、思いやりの心を育てる（安心できる人間関係の形成）



○11月13日～2日間インターンシップ実施

- ・2年生8名全員が学校設定科目「就業体験」の一環でインターンシップに参加
- ・自分の将来について具体的にイメージが付き、キャリア意識の醸成できた。資格取得や学習計画も具体的に。

○12月19日インターンシップ報告会

- ・2年生がスライドを用い、インターンシップの成果を発表
- ・受入先のうち1社・1校が報告会参観し、講評をいただいた。講評を聞く生徒の目は真剣そのもので、学習意欲がさらに高まった。



○1月16日～2日間県外視察・1月31日視察報告会

- ・神奈川県インクルーシブ教育実践校の県立城郷高等学校で進路発表会を参観しインターンシップの取組を視察。また、静岡県立川根高等学校では、キャリア教育や探究活動で地域と連携した取組事例を視察

<本事業における取組と成果>

- ・今年度からインターンシップを軸にキャリア意識の形成を図るため2年生全員が学校設定科目「就業体験」を履修することにし、本事業を活用した取組を2年生全員で取り組める体制ができた。
- ・県外視察では、インターンシップを効果的に活用した実践事例や、地域と密に連携し効果をあげた事例を視察し、本校の教育活動に取り入れる計画である

○インターンシップ受入事業所等

- ・白石図書館
- ・大河原町駅前図書館
- ・ブロッサム遊花
- ・株式会社 福華堂
- ・JA全農Aコープ株式会社Aコープ槻木店
- ・橋本電気工事株式会社仙台支店
- ・宮城県立白石高等技術専門校

